

授業科目	高齢者歯科医療学(咬合・有床義歯補綴学)		
区分・単位	講義・演習・実習 9単位	関連分野等	
年次・期別	1年次～2年次	曜日・時限	月曜日～金曜日
教室	保存科・補綴科診療室,咬合・口腔機能再建学分野 研究室	担当者電話番号	086-235-6685 (皆木省吾)
担当教員	【研究科】教授:皆木省吾, 准教授:原 哲也, 助教:岡 森彦, 沖 和広, 兒玉直紀 【病院】講師:西川悟郎, 丸尾幸憲		
一般目標	高齢者の歯科治療に対する専門的知識ならびに手技を体得する。		
到達目標	高齢者の全身的, 精神的背景を考慮した治療を行うことができる。 加齢に伴って顎口腔系に生じる形態的, 機能的変化を考慮した治療を行うことができる。 高齢社会における歯科補綴治療が果たす社会的役割を考えることができる。		
講義概要	<p>1) 高齢者歯科医療学:(皆木・原・西川・丸尾・沖・岡・兒玉) 高齢者は全身疾患のみならず歯の咬耗, 粘膜の特性変化, 咀嚼筋の筋力低下, 顎関節症の発症, 味覚障害, 唾液分泌障害などを有する割合が増加する。本講義・演習・実習を通して, 高齢者に対する歯科治療の特徴と実際についての専門的な理解を得ることを目標とする。</p> <p>2) ファントムを用いた基礎実習:(関連教官) ファントム模型を用い補綴全般(クラウン・ブリッジ, インプラント, 有床義歯)の一連の治療ステップに即した実習を行う。</p> <p>3) 高齢者に対する補綴治療(臨床実習):(皆木・原・西川・丸尾・沖・岡・兒玉) 高齢者に対する補綴治療を行い, 高齢者において注意すべき対応を体得する。また, 治療前には対応すべき全身疾患についての見識の確認を行うとともに, 治療後には臨床検討会において得られた臨床予後, 治療中の問題点あるいはその解決策, 考えられる解釈などに関する議論を展開し, 論理的思考と議論展開の基礎を学ぶ。</p> <p>4) 症例検討会(演習):(関連教官) 毎週開催されるセミナーに参加し, 他者の発表について議論を展開するとともに, 各自の発表では治療内容をエビデンスと対比させ, 論理的・科学的な議論展開の能力を要求する。</p> <p>5) 各種セミナー(演習):(関連教官) 当研究分野におけるセミナーへの出席は勿論であるが, 国内外を問わず他機関講師によるセミナーを積極的に受け, 治療・研究の最先端の知識ならびに研究者の議論展開を学ぶ。</p> <p>6) 学会参加(講義, 演習):(学会参加の研究 G 担当教官) 日本老年歯科医学会に参加し, 他発表者の論理展開を理解する。学内のみならず, 学外の研究者との交流によって議論を発展させ, より深い追求心が生まれる。</p>		
テキスト・参考書等	<p>高齢者歯科学 渡辺 誠他 永末書店</p> <p>Prostodontics for the elderly Budtz-Jørgensen Quintessence</p>		
成績評価基準 成績評価方法	出席およびレポートなどにより評価する		
研究活動との関連	高齢者に認める骨粗鬆症や糖尿病に関する研究あるいは歯牙欠損が高次脳機能に及ぼす影響について研究を行っている。		

基礎実習	
臨床実習	臨床実習は、クリニカルクラークシップにより全てのステップを20症例以上実習する
症例検討会	症例検討会は、毎月行う
講義日程	<p>下記のセミナーを開催する。日程等は事前に大学院生に通知する。</p> <p>第1回 老年歯科医学総論 (皆木省吾教授)</p> <p>第2回 嚥下補助床と構音補助床 (皆木省吾教授)</p> <p>第3回 高齢者無歯顎患者の治療と咀嚼 (皆木省吾教授)</p> <p>第4回 高齢者部分無歯顎患者の治療 (原 哲也先生)</p> <p>第5回 顎欠損患者の補綴治療 (西川悟郎先生)</p> <p>第6回 高齢者の粘膜疾患と口腔乾燥 (岡 森彦先生)</p> <p>第7回 在宅高齢者の歯科治療 (兒玉直紀先生)</p> <p>第8回 高齢者の口腔ケア (沖 和弘先生)</p> <p>第9回 療養型病床における歯科診療 (西川悟郎先生)</p> <p>第10回 有病者・高齢者における栄養管理 (兒玉直紀先生)</p> <p>第11回 老年期の全身管理の基礎知識 (丸尾幸憲先生)</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>第20回日本老年歯科医学会</p> <p>日時:平成21年6月19日(金)～20日(土)</p> <p>会場:パシフィコ横浜</p>